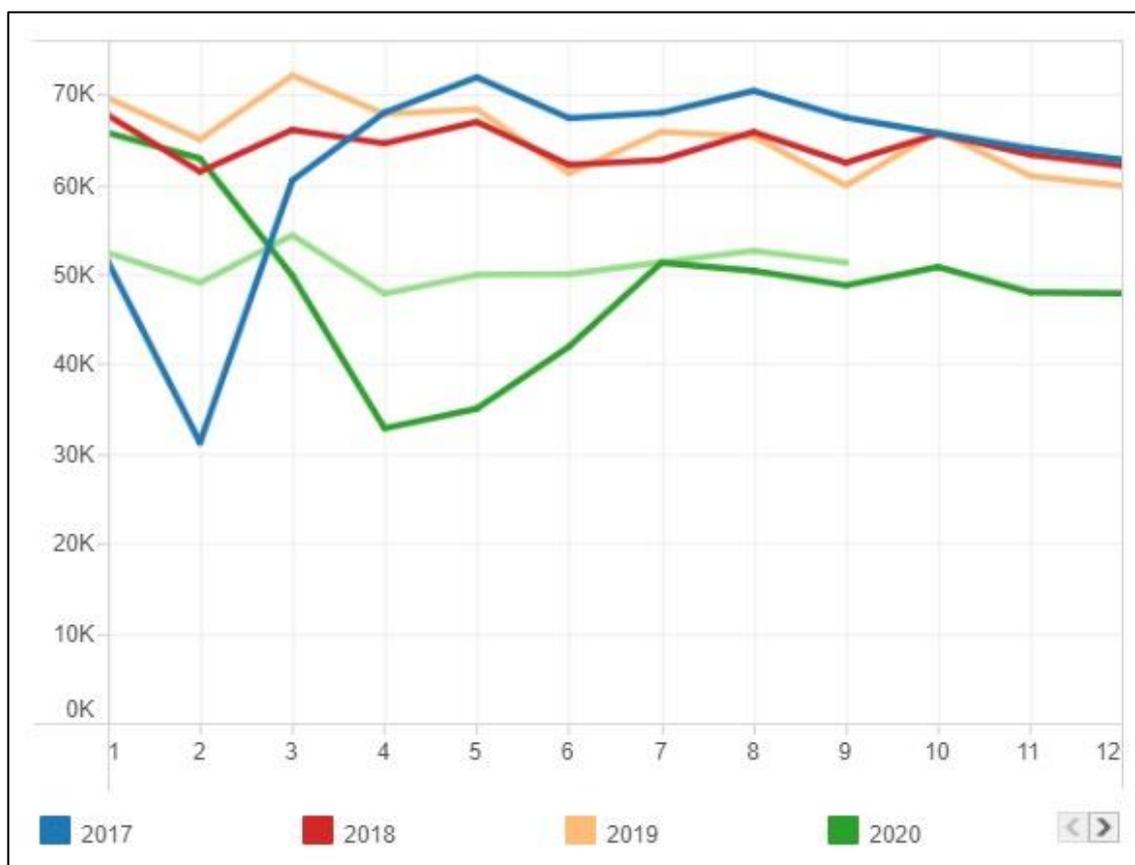


1. 社会・治安情勢

- (1) 5月にリオ市がバー、レストラン等の営業時間制限を撤回し、以降も段階的緩和計画が進められており、国内観光客も増加し、街頭には人出が確実に戻っている状況にある。これに伴い、ゾナスル地区（特にコパカバーナ・イパネマ地区）では、強盗事件の増加が認められる。イパネマ・レブロン地区に限定した犯罪統計によれば、過去5年間でも最も強盗発生件数が多い状態となっている。
- (2) 他方で、リオ州全体で見ると、パンデミックによる社会的隔離政策が定着した昨年7月以降、犯罪発生件数は横ばいの状態で1年以上推移しており、これまでのところ急激な増加は認められない。

【警察取扱件数：リオ州全体】



2. 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

- (1) リオ州公安統計院（ISP）によれば、2021年度第2四半期（7～9月）中のリオ州内における殺人事件発生件数は、772件で、前期（第1四半期）と比べて約5%減少した。
- (2) また、強盗事件発生総数は、28,768件（前期比-1%）と微減であるが、強盗手口のうち、車両や通行人を標的とした強盗は増加している。
- (3) リオ市は、年末に向けて更に社会的隔離政策の緩和措置を段階的に進める方針であり、人出の増加が予想されるとともに、経済状況等によっても今後の治安情勢は影響を受けることから、引き続き警戒が必要である。

3. リオ州犯罪発生状況（2021年）

	第1四半期 (4～6月)	第2四半期 (7～9月)
殺人	798	772
強制性交等	1,194	1,283
商業施設強盗	886	756
住居侵入強盗	255	224
車両強盗	6,009	6,233
通行人強盗	10,149	10,218
交通機関内強盗	2,793	2,217
携帯電話強盗	3,600	3,575
強盗総数	29,003	28,768
窃盗総数	26,466	28,188
取扱件数	147,695	155,149
※警察介入の際の致死事件	350	290

4. 一般事件等（邦人の安全に係るものを抜粋）

(1) 銃撃戦

6月30日（水）午後8時ころ、リオ市南地区とセントロ地区を結ぶレボウサス・トンネル内で、軍警察が不審車両に停車を命じたところ、不審車両に乗った2人組が発砲し、軍警察との間で銃撃戦が発生しました。この銃撃戦の流れ弾により、1名が負傷し、病院に搬送されました。犯行グループが乗った車両は逃走中にトンネル内壁に衝突し、犯人2名は逮捕されています。

(2) 窃盗（コパカバーナ地区）

8月5日（木）午後2時ころ、コパカバーナ海岸沿いにあるキオスキ（ポスト5付近にある海岸沿いの簡易レストラン）で食事をしていた邦人が、窃盗（置き引き）被害に遭いました。被害者は、椅子の背もたれに財布等在中の袋を掛けて食事をしていましたが、浜辺で菓子を販売している物売りが近付いてきて話しかけてきた後、気がつくやうに袋ごと盗まれていました。

5. テロ・爆弾事件発生状況

事件の発生は認知していない。

6. 誘拐・恐喝事件発生状況

邦人被害は認知していない。